



住吉神社
春祭り
住吉楽祭

能と
茶の湯



狂言 茶壺
能 鞍馬天狗
茶席 遠州流茶道
（樂水園にて）

令和六年四月十三日〔土〕
15時開演（14時開場）

住吉能楽殿
（市指定文化財）

【主催】 安藤造園土木株式会社
【共催】 住吉神社・住吉商店街（まるっと住吉）
遠州流茶道福岡支部・樂水園

博多区住吉3-1-51

■入場料
S席 茶席付き・樂水園入園料込）／12000円
・1席目：11時
・2席目：12時
・3席目：13時

A席／10000円
B席／8000円・学割3000円
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

狂言
和泉流狂言方 野村 万禄

能
観世流シテ方 今村 嘉太郎

チケットお問合せ



樂水園
博多区住吉2-10-7



春祭り

092-262-6665

狂言 茶壺

解説

今村嘉太郎

スッパ

中国の者

目代

後見

(休憩
二十分)

能 軒馬天狗

山伏・天狗

僧
牛若丸

今村嘉太郎
御厨誠吾

南潤之助

長江藤圭輝

今村鰐子

杉原遼大

西麻央

武藤陽華

江藤颯馬

宮崎凜

武藤ひかり

野村万禄

吉住講

吉良博靖

杉山俊広

笛
小鼓
大鼓
太鼓

能力
木葉天狗

相原一彦
大倉源次郎
白坂信行
田中達

(人間国宝)

笠田祐樹
今村哲朗
大西礼久
今村一夫

多久島法子
今村嘉伸
久保誠一郎

地謡

詐欺師が近付き所有権を云い争う演目は、狂言「長光」にも見られます。本曲は所有者ならでは知り得ない情報を、止めに入った代官

（目代）の前で身振り手振りの仕方話で説明する男と、それを盗み見て真似る素つ破の駆け引きが見どころとなっています。さて目代の裁きは如何に。



あらすじ
茶好きの主人の命により梅ノ尾へ買い付けに出掛けた男は、帰路立ち寄った宿場で酔い潰れ茶壺を背負ったまま道端で寝込んでしまいます。そこへ通りかかった徒者（素つ破）が、これ幸いと近づき肩紐に手をかけ、目覚めた男に自分の物だと主張して…。

みどころ



能 軒馬天狗

あらすじ

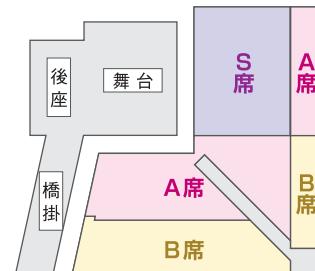
に満ちた堂々たる姿を現します。大天狗は、牛若丸の態度を褒め、同じように師匠に誠心誠意仕え、兵法の奥義を伝授された漢の張良（ちょうどりよう）の故事を語り聞かせます。そして兵法の秘伝を残りなく伝えると、牛若丸に別れを告げます。袂に縋る牛若丸に、将来の平家一門との戦いで必ず力になろうと約束し、大天狗は、夕闇の鞍馬山を翔け、飛び去ります。

みどころ

花盛りの鞍馬山を背景に、威厳ある大天狗と華やかな牛若丸との師弟の絆を中心には、情説に富んだ多彩な場面が展開されます。前半では、大勢の可憐な稚兒の登場あり、寺男の小舞あり、高僧のお高くとまつた物言いありと、盛りだくさんの話を経て、大天狗の化身である武骨な山伏と、孤独な牛若丸との心の交流に至り、どこか詩情を誘う深山の、彩り深い雰囲気が醸し出されます。後半には、大天狗のもと兵法を学ぶ牛若丸の、殊勝な心がけに焦点があたられます。牛若丸は師匠を大事にする、凛々しく素直な少年として描かれ、鞍馬の大天狗は、天狗たちの頭領とも目されるような、堂々たる威厳ある姿を現します。

the能ドットコムより

座席図



交通アクセス

- JR博多駅・地下鉄博多駅より徒歩約10分
- 西鉄バス「住吉」下車、徒歩約2分

住吉楽祭 ~春の佳き日に~能と茶の湯

江戸初期には、将軍、藩主が家来の家を訪問した際、茶の湯でもてなしその後能の席で接待することが行われていました。茶の湯の心理「わび」、能の本旨「幽玄」を体感していただける本日だけの特別茶席です。

遠州流 遠州流茶道は、江戸時代初期の大名茶人で総合芸術家として有名な小堀遠州を流祖とする日本を代表する大名茶道で、流祖以来440年の歴史を持ち格式ある茶道として、今日まで受け継がれています。遠州流茶道の真髄は「綺麗さび」と称され「わび・さび」の精神に、美しさ、明るさ、豊かさを加え誰からも美しいと云われる客觀性の美、調和の美を創り上げたことにあります。